

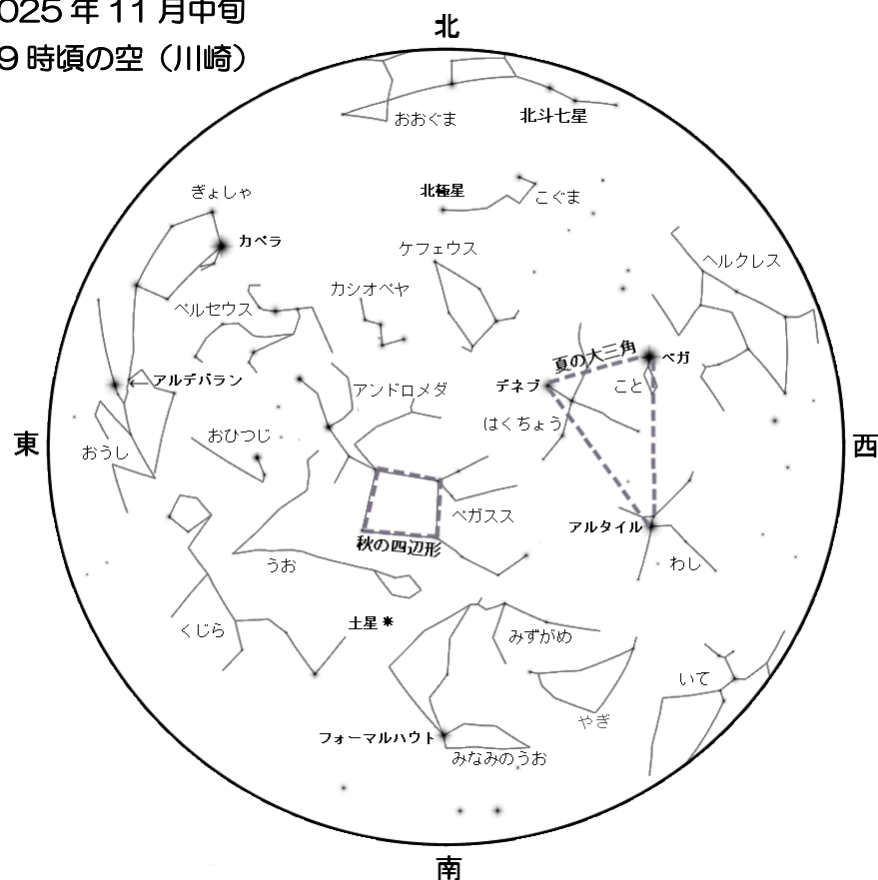
かわさき宙と緑の科学館

# アストロテラス 夜間一般公開

2025 年 11 月 1 日 (土)

\*このリーフレットは科学館天文サポーターの協力により作成しています。

2025 年 11 月中旬  
19 時頃の空 (川崎)



StellaNavigator/アストロアーツ

## 2025 年 11 月の星空

11 月の夜空には際立って明るい星は少ないものの、南の空高いところには秋の四辺形を形作るペガス座、頭の真上から北寄りの空には W の形をしたカシオペヤ座を見ることができます。その他アンドロメダ座、ペルセウス座といった秋を代表する星座が夜空を彩ります。

秋の星座で唯一の 1 等星はみなみのうお座のフォーマルハウトで、南の空の低いところに輝いています。

明るい星が少ない秋ですが、今年は土星 (0.8 等) がうお座からみずがめ座の間に見えています。

## これからの天体現象

### ●注目現象

- |      |      |  |
|------|------|--|
| 11 月 | 2 日  | 後の月 (旧暦 9 月 13 日の月)                    |
|      | 5 日  | このころ、おうし座南流星群が極大 (見頃は 10 月下旬から 11 月上旬) |
|      | 7 日  | 立冬 (太陽黄経 225 度)                        |
|      | 12 日 | このころ、おうし座北流星群が極大 (見頃は 11 月上旬から中旬)      |
|      | 18 日 | しし座流星群極大                               |
|      | 20 日 | 水星が内合 (地球から見て太陽と同じ方向にある)               |
|      | 21 日 | 天王星が衝 (地球から見て太陽とちょうど反対側になる瞬間)          |

### ●月の満ち欠け

- |      |      |                  |
|------|------|------------------|
| 11 月 | 5 日  | 満月 (今年最も地球に近い満月) |
|      | 12 日 | 下弦               |
|      | 20 日 | 新月               |
|      | 28 日 | 上弦               |

## 2025 年 11 月の観望天体(予定)

### 【土星】

土星といえば大きな環が魅力ですね。では、その環はどのくらい明るい  
か知っていますか？土星の環は氷の粒がたくさん集まってできていて、太  
陽の光をよく反射するのでとても明るく光っています。環が一番傾いて大  
きく見えるときは、土星全体の明るさの半分以上もあるのです。今年は地  
球から見て環が細くなっていて、ほとんど見えなくなる時期です。このた  
め、土星全体の明るさはいつもより少し暗くなっています。

(環の傾きの変化について詳しくはトピックを参照してください)

### 【月】

月は地球の衛星で、太陽系の衛星の中では5番目の大きさです。11月5  
日の満月は2025年では最も地球に近く、地球の中心から月の中心までの  
距離は約35万7,000kmになります。これは2025年で最も遠かった  
4月13日の距離と比較すると約49,000km近くなり、見た目の大きさ  
(視直径)では約14パーセント大きく見えます。この機会に大きな月を  
見てみては？

## トピック

### 【土星の環の消失】

土星といえば、環を持った惑星として知られていますが、その環が今年“消  
失”しました。どういうことでしょうか？

土星は太陽のまわりを約30年かけて一周(公転)してします。そのため、  
地球から見た土星の姿も、約30年の周期で変化します。土星の自転軸は  
26.7度傾いており、環の北側あるいは南側の見える時期が約15年ごとに交  
互にやってきますが、入れ替わる時は環を真横から見ることになります。環  
の厚さは10m~1km程度ととても薄いため、このとき地球から土星の環  
が見えなくなるのです。さらに、土星の環に太陽の光が真横から当たる場合  
(地球での春分や秋分に相当)や、環の太陽の光が当たっている側と地球か  
ら見える側が反対になる場合も、土星の環が見えなくなります。「土星の環の  
消失」とは、本当に土星の環が消滅する訳ではなくて、このように地球から見  
たときに土星の環が見えなくなる現象のことを指しています。

2025年には、3月24日(環を真横から見る)と5月7日(太陽の光が  
真横から当たる)に起こりました。さらに11月25日の前後には、環がほ  
んど見えなくなる、準消失(環をほぼ真横から見る)という現象が起こりま  
す。当館も、アストロテラス夜間公開(11月1日、12月6日)や、  
**土星特別観望会(11月22日(土)、詳細は科学館だよりか、後日更新  
予定の科学館ウェブサイトを確認してください！)**で、みなさんに見ていた  
だく予定です。

次回は

12月6日(土) 受付時間：18:30~18:50

土星とM45を観望予定です。

先着順で整理券を配布し、番号の順に望遠鏡で観望していただきます。  
※雨天・曇天等観望が難しいと予想される場合は中止。

(開催の有無は、当日15時に当館HP・X・Facebookでお知らせ  
します。)

アストロテラス夜間一般公開  
の感想をぜひご記入ください。  
(所要時間1~2分程度)



かわさき  
と緑の科学館  
Kawasaki Municipal Science Museum  
サイエンスブリッジ

## ぷりんのひとことメモ



みんなは11月2日もお月見の日って  
知ってるかな？ 中秋の名月は十五夜だか  
らだいたいまん丸の月だけど、旧暦9月1  
3日は後の月(のちのつき)と言って、十  
三夜の少し欠けた月を見て楽しむんだ。栗  
名月とか豆名月とも呼ばれているから、栗  
や豆をお供えしてお月見するのがおす  
めだよ。

最新の科学館の情報は  
ホームページ・SNSを  
ご確認ください。

公式ホームページ



X



Instagram

